

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	静岡市中心身障害児福祉センターいこいの家		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月30日		～ 令和6年 11月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 62 (複数回答者あり)
○従業者評価実施期間	令和6年 8月26日		～ 令和6年 9月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 40
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の資質の向上を図るために施設内外の研修や、法人内研修を受講する機会が確保されている。	随時園内でzoom研修を受けたり、会場に行って講義を受けたり、お子様が降園した後に職員全員で研修を受ける時間を設けている。また個人で受講した研修は報告書や報告会で情報を共有している。	他施設や幼稚園、こども園等の見学の機会を設けるなど内容をより充実させていく。また、今後研修内容についてパート職員への周知、報告を徹底し、全職員の資質向上を図っていく。
2	職員間で意見交換ができたり相談しやすい環境であるため活動プログラムの立案を円滑に行うことが出来ている。	活動プログラムを考える際、季節に応じたあそびのほか、お子様が好きなこと、これから挑戦してほしい事など職員の思いを話しながら作成している。また研修、勉強会等で情報収集し、習得したことを取り入れている。	やってみてよかった活動の事例報告会を行ったり、職員の個性を生かした活動、その時期にお子様を楽しんでいる遊びを取り入れ、活動プログラムが偏らない様にしていく。
3	様々な手段を使っていこいの家の活動の様子を発信している。	園内外のそれぞれに向けた広報誌の発行の他、ホームページやインスタグラムなどを活用している。保護者に向けてはアプリも使用し、情報の伝達をしている。	定期的な更新を継続し、最新の情報を発信していく。また保護者には速やかな情報伝達を継続していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	御家族で参加できる行事が減り、保護者様同士、きょうだい様同士で交流する機会を設ける等の支援が不十分であったこと。	感染症対策の点から御家族やきょうだい様が参加できる行事を中止、縮小していたため。	御家族で参加できる行事を少しずつ再開している。きょうだい様同士の交流する機会を設けることについて、ニーズの把握も含めて実施方法について検討していく。
2			
3			